

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8235
担当部課名	市民部	国民健康保険課		
事務事業名	一般・退職被保険者等高額療養費		事業コード	11520

1 総合計画における位置づけ

政策名	1 第 1 章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第 5 節	社会保険制度の充実に向けて	~63 年度
施策名	第 2 施策	国民健康保険制度の充実に向けて	

2 実施根拠及び関連法令等

国民健康保険法第57条の2他

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
療養の給付を受けた場合に被保険者は一部負担金を支払うが、この一部負担金在自己負担限度額を超えた場合には、その超えた額を支給する制度である。 自己負担限度額 一般 63,600円 + (医療費 - 318,000円) × 1% 上位所得者 121,800円 + (医療費 - 609,000円) × 1% 非課税世帯 35,400円	本市の国保加入者(老健該当者を除く)
	対象数 160,360人

(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
<ul style="list-style-type: none"> 一般被保険者 16,775件 1,596,692,917円 退職被保険者等 5,243件 417,585,086円 計 22,018件 2,014,278,003円 	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度 ~ 年度

4 評価指標

指標名	適正支給申請に対する支給率
指標式	支給額 / 適正支給申請額
指標設定の意図	申請に対する適正支給の維持

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	1,832,391	1,924,754	2,014,278	2,065,358	2,277,000
	人員・時間数	2人	2人	2人	2人	2人
	人件費	16,840	16,840	16,840	16,840	16,840
	その他経費					
	合計	1,849,231	1,941,594	2,031,118	2,082,198	2,293,840
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 申請に対して、適正な支給を維持している。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 法令に基づき給付している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である	理由： 本市独自の電算システムで行っているため、法令等の改正時にはシステム修正が必要となる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 連合会への委託も考えられるが、現在本市が行っているような、木目細やかな事務処理が可能かの検討が必要である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 調剤との突合については、木目細やかな処理を行い、高額該当者の発見に努めている。また、支払いが困難な方のために受領委任払制度を設けている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 高額療養費の支給は、被保険者の負担軽減に繋がるものである。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>レセプト点検や保健事業により、医療費の削減に努める。</p>
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>国保連合会に委託の検討も必要である。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県下のほとんどの保険者が連合会に委託しているため、本市も検討の必要がある。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	連合会への委託も考えられるが、現在本市が行っているような、調剤との突合処理が可能かどうかの検討が必要である。 また、連合会に委託したとしても、委任払いは市独自の電算システムで行わなければならない。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--